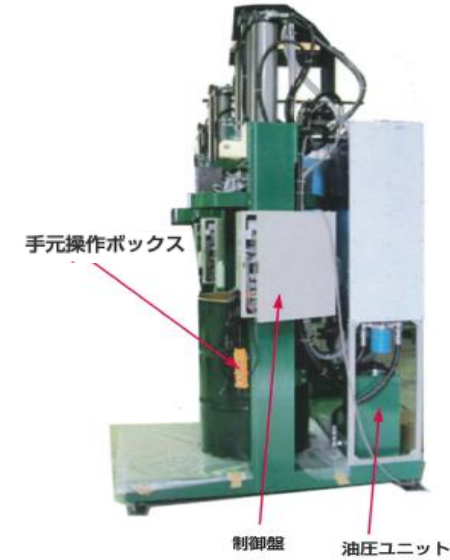
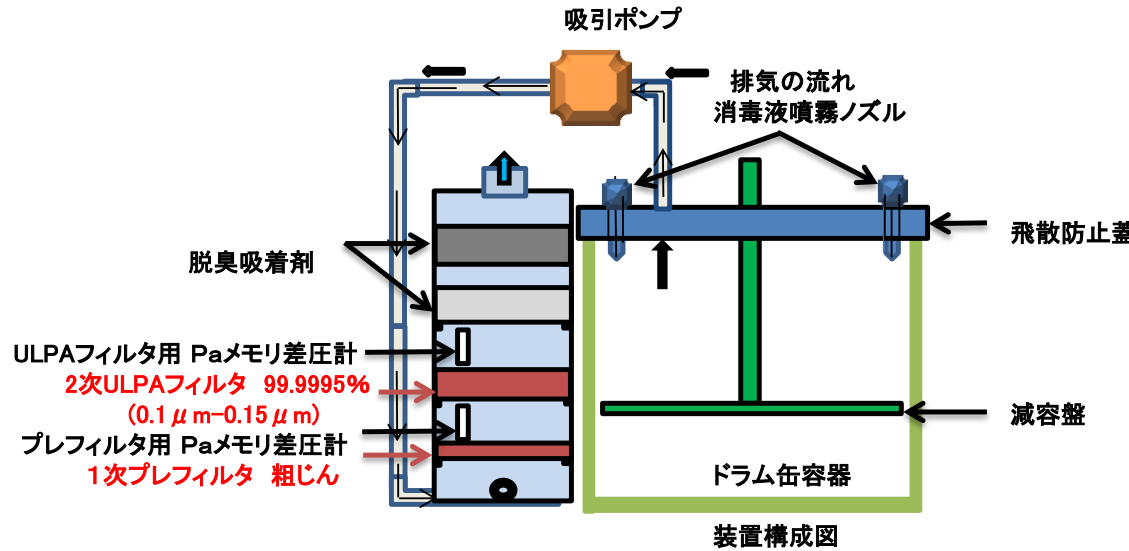


感染性廃棄物処理技術に於けるCO2削減と経費節減の計れる新装置

感染性廃棄物を約3分の1から5分の1に圧縮減容。収集運搬回数も1/3~1/5減等、排出者によるCO2排出を大幅削減。消費電力を軽減し、圧縮減容工程に伴う排出空気は生活環境保全上の対応を図りながら消毒殺菌（微酸性電解水、その他消毒殺菌液噴霧）後、NIPPONN MUKI 1次プレフィルタ 2次ULPAフィルタ（交換時期Paメモリ差圧計）と脱臭吸着剤一体型ユニットを通してクリーンな状態で排気します。梱包後ドラム缶ごと電気炉製鋼設備にて一括熔融処理を行います。



本装置は、(財)日本環境衛生センターによる廃棄物処理技術検証を平成22年2月26日に終了した装置であります。

又、特許庁にて平成27年12月25日に『感染性廃棄物の圧縮減容化装置及びその使用方法』と称した特許を取得しております。

主な検証内容

1. 廃棄物の飛散流出防止
 2. 悪臭、騒音、振動の生活環境保全に対応
 3. 病原微生物の飛散防止
- 以上の防止対策が施されています。

